

AG5

補習授業校情報交換会 #7

やっぱり大変、1年生と幼稚園

各地の開始時刻
2020年6月10日(水)

USハワイ	4:00AM
US太平洋	7:00AM
US山岳部	8:00AM
US中部	9:00AM
US東部	10:00AM
英国等 (西ヨーロッパ)	3:00PM
仏独等 (中央ヨーロッパ)	4:00PM
タイ等	9:00PM
中国等	10:00PM
日本	11:00PM



・マイクのミュートを解除して
お話してください。

<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。



スピーカー・ビュー

話している人が大きく見えます。



ギャラリー・ビュー

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属校

アイルランド

アルザス

イスタンブール

エドモントン

オースティン

大阪府

カールスルーエ

カルガリー

グアヤキル

クリーブランド

グリーンビル

グルノーブル

グレートールイビル

ケルン

コルマール

コロラド

コロンバス

サウスカロライナ

シュツットガルト

ジュネーブ

ダービーシャー

ダラス

中部テネシー

ディジョン

デュッセルドルフ

デンバー

ニューオリンズ

ニューポートニュース

ニュルンベルク

ハイデルベルク

ハワイレインボー学園

バンコク日本人学校

ハンブルク

ビエンチャン

ピッツバーグ

フィラデルフィア

ブノンペン

ブノンペン日本人学校

プリンストン

ヘルシンキ

ベルリン中央学園

ポートオブサクラメント

北東イングランド

香港

マーストリヒト

マルセイユ

ミネアポリス

目白大学

モントリオール

ユタ

リッチモンド

ロチェスター

ワシントン

本日の予定

1. 問題点の確認
 2. 各校からのレポート
 3. 質疑、コメント等
-

(終了後) 雑談タイム 15分

4人ぐらいのグループで自由懇談

- ・お時間のある方はご参加ください。
- ・グループはコンピュータが自動で分けます。

◆ これからの情報交換会の予定

- #8 6月21日(日) 「補習授業校の複式学級」
- #9 7月5日(日) 「日本語で本を読ませる」(保護者も参加)
- #10 (予定) 「低学年の算数」

(保護者の参加について) 通常は、運営委員などの役職をお持ちの方に限らせていただきます。
テーマによって、保護者のご参加をお願いいたします。

ご意見・リクエスト等は、 nsassaykhm@me.com 佐々(海外子女教育振興財団)まで。

◆ ウェブサイトをのぞってください。

AG5補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団(JOES) <https://www.joes.or.jp>

◆ 出席者と連絡を取りたいとき

・ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



ここが聞きたい！

- ・ 1年生と幼稚園の生徒の対応と日本語の教え方
- ・ 幼稚部から小学部1年への移行期、また小学1年から始めて補習校へ入学するお子さんへ、いわゆる「入学テスト」なるものを実施されているのかどうか。その場合こういった試験、テストを行っているのか。ぜひ参考にさせていただきたく思います。
- ・ 国語と算数と生活の授業をオンラインでやっていますが、生活は、みなさん、どうされているのか知りたいです。各教科の工夫なども教えていただければ嬉しいです。
- ・ あれもしてほしい、これもしてほしいと過大な要求をする保護者への対応
- ・ 皆様が国語の教科書をどの程度使用しているのか（ページ順に進めているのか等）をお伺いしてみたいです。
- ・ 遠隔授業、直接会うことのできない保護者とのかわり方について情報を共有できればと考えております。
- ・ オンライン授業を実施することで講師負担がどのくらい増えたか。それに対し学校はどのような軽減案や救済案を取っているか。
- ・ 通常登校が再開され教室で授業を行えるようになった後に、今回のオンライン授業で活用したことを継続していくことがあればどんなことを継続していかれるか。
- ・ 今一番課題としてあがっているのが、通常の授業ができないことに伴うカリキュラムの遅れをどのようにしていくか、ということです。夏休み明け以降も通常の教室での授業とはいかない可能性も高く、そうなりますと授業時間の不足により年間のカリキュラムがこなせきれなくなってくるかと思います。国語、算数各教科において、どの単元・活動を優先してどの部分を省略するかといった課題選択のような部分を、他の補習校の先生方はどのようにされていらっしゃるのか、是非教えて頂きたいと思っています。
- ・ 今年度が3年目で、1年生を担当するのは初めてです。
今年これだけは抑えておかないといけない、ここをできるようにしておくとならぬポイントがあれば教えて頂きたいです。

 コロラド *****

小1は12名の生徒に2時間（+30分の自由参加時間）のオンライン授業を行っていますが、生徒数が多く（当校のなかでは、という意味ですが）、また限られた時間の中では教科書をこなすのがいっぱいいっぱいです。

 香港 *****

香港日本人補習授業校では2月から休校でしたが、4月に思い切ってZoomによるオンライン授業に移行しました。教員研修、保護者への協力要請、オンラインでの生徒指導など様々な課題があり、現在でも毎回の授業で通信の問題や技術的な問題であたふたしておりますが、オンライン授業も8回を終え、軌道に乗ってきました。香港はコロナの感染拡大も比較的落ち着いており、教育局より休校解除の通知も出たので6月20日から対面授業を再開させます。今度はその安全対策、マニュアル作りに追われている毎日です。

オンライン授業をうまく活用すれば対面授業が叶わない状況下でも「学びをとめない」で日本語学習ができることを、教員も保護者も児童たちも身をもって経験しましたので、今後心配されるデモによる休校などにもオンラインでどうにか対応していけるのではないかと考えているところです。

 グレータールイビル *****

4月11日より小学年生から高校2年生までオンライン授業を行っております。2学期から一部対面授業を再開出来る可能性があるの、その際には幼稚部も開園する予定です。小学1年生に付きましては保護者の要望もあり2学期からオンライン授業を開始します。

🍀 エドモントン *****

前回ミーティングのグループ分けでサウスカロライナの谷田知穂先生とご一緒になりました。その時谷田先生が長年1年生を教えられた経験から（現在は中1担任と言っておられた）日付を覚えるのに10人のインディアンの替え歌をつかうといいですよ、と教えて頂きました。ご存知ない方がいらっしゃるかもしれませんのでサイトをお知らせいたします。

<https://www.youtube.com/watch?v=ZJSy4fq3a4>

手前味噌ですみませんが、前回「ねことねっこ」授業の後、「ねことねっこのペープサート」を生徒それぞれが作りました。子供たちは作った後、教科書の内容を唱えたりしていました。教科書の内容を人形で具現化するのは、とても興味、理解につながるな、と再認識しました。私の場合、工作の時間を後半に持ってきています。

生徒は授業の後にあるこの工作の時間を大変楽しみにしていると感じています。また生徒の感情がみられる時間とも感じています。対面での指導が必要と感じつつ、生徒が私のサンプルそっくりに作ろうと画面に張り付いている様子を見ますとオンラインの画面というのは集中するのに適しているのかな、と感じました。以上です。（もとださちこ）



🍀 デンバー *****

デンバー校は年中と年長組の幼稚園部もありまして、4月19日のオンライン授業スタート以降、各教員が試行錯誤でオンライン授業及びSeesawというアプリを活用した家庭学習配信に取り組んでおります。

🍀 ダラス *****

ダラス補習校は幼稚部の2年間で1年生に上がるための準備をいたします。年中でひらがな、数字30までの読み、年長でひらがな、100までの数字の書きを習得するように限られた授業日数で頑張っています。

現在、グーグルクラスルームで資料や宿題を配信、Zoomでオンライン授業を進めております。資料の中には、パワーポイントで作ったもの（これは学年の得意な先生にお願いしています。）や問いかけ集を載せ、家庭学習に役立ててもらっています。参考になるかどうか分かりませんが、問いかけ集の一部を送ります。

こぐい一年上 かぎくぐるま 問いかけ集(保護者用)

わけをはなそう 四十八ページ (保)保護者(子)子ども

「めあて」気持ちを話したあとに、そのわけを話すことができる。

(保)「四十九ページの右の絵の女の子の今の気持ちは、どんな感じですか。女の子になつて『わたしは、』です。』と答えてみましょう。」

「わたしは、です。」「わたしは、ニコニコしています。」「など自由に答えさせます。文型と多少違っても意味が通じれば、他の言い表し方を認めてあげてください。」

(保)「嬉しい理由は、どうしてですか?『どうしてか』というからです。』と答えてみましょう。」

挿絵を参考に理由となる出来事を話すように促します。わからないようであれば、どうしている絵か一緒に考えて、言い方を確認します。

「どうしてか」というと、朝顔の芽が出たからです。」「どうしてか」というと、

絵が上手だと褒められたからです。』を真似させて発言させてください。

(保)「今度は、左の絵の女の子の気持ちを考えてみましょう。」

(子)例「わたしは、かなしいです。」「わたしは、なみだができました。」

できるだけ基本の文型を大切に敬体で話せる練習をしてみてください。嬉しい時と同じように、絵を見て、悲しい理由を考え答えさせます。

「発展慣れてきたら、『私は、びっくりしました。』とか『僕は、困りました。』等、お子様の経験から、どんな時に、どんな気持ちになるかを思い出させて、この話型で話をしてみましょう。」



通常は小1生用に販売されているドリル(平仮名と数字練習)を幼稚部で一冊終了させ、小1に上がる時には「平仮名と数字は一通り学習済み」というレベルまで持っていくそうです。そして授業スピードの速い補習校学習についていかれるように事前準備とするとのこと。小1に入ってから、平仮名はまた違う教材で一通りは学習するそうです。」

2020年5月28日
 グラス補習授業校
 佐藤 恵美

●初めに

グラス補習授業校では、3月中旬に発令された「自宅待機命令」(Stay at Order)により急な休校を余儀なくされました。そして、非常に残念ではありましたが、卒園・卒業式や修了式等はすべて取りやめとなり、そのまま昨年度を終了しました。その後、「このような状況で補習校としては何をどこまで子ども達に出来るか？」の協議を重ね、今年度4月13日の新年度初日より現在に至るまで、すべての学部においてオンラインによる対面授業を行っています。

現在の各学部におけるリモート学習の状況は次の通りです。

●補習校としてGoogle Classroomを導入し、学習課題提示や提出物の回収、家庭との連絡等のツールとして活用中。

学部	授業の様子	家庭学習
幼稚部 ・年中 ・年長	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れ (ZoomとGoogle Classroomの組み合わせで4時間分の授業を設定している) ・Zoom学活や授業の内容(対面の良さを生かす)挨拶、呼名、言葉遊び、ゲーム、連絡事項など。年長では、テーマを決めて自分の考えを発表する。 (例:「家の中にある赤いものを1分間で探して持って来てね。」→それについて、画面で見えるクラスの友達に向けてスピーチをする。) ・毎週Google Classroomへ掲載される授業動画の視聴:紙芝居(毎週違う話)読み聞かせ、毎月の歌、ラジオ体操、補習校の校歌、季節の工作、ひらがなや数字指導(毎週)など。 ・毎週指示された課題に取り組む。 ◎子ども達の集中力を考慮して、30分後ごとに活動を変えてなど配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなと数字のドリル課題やプリント類をPDFで担任へメール送信や、写真に撮影をし、テキストメッセージとして携帯電話へ提出をする。 ・工作の成果物は、Zoom中に画面で見せ合ったり、写真に撮影したものをメールで提出する。
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、すべての教科(国語・算数・社会)の授業動画やパワーポイント資料等による課題を作成しGoogle Classroomへ掲載。 ・途中からは、1~6時間目まで時間割通りにZoomもしくはGoogle Meetを使用し対面授業を実施中。 ・高学年では、リモート授業期間中は教科担任制を取っており、複数クラスを同時に指導している。担当教師が指導中に、もう一名の教師がZoomやGoogle Meetのホストを担い、接続に関するトラブルシュートや児童からのチャットによる質問に対応をする。(教師2名がチームとなり40名程度の児童を一斉指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやノートに行った宿題の画像をGoogle Classroomへ添付送信をする。 ・Google Classroom内でGoogle DocumentやGoogle Formへ直接タイプをして提出をする。 ・各種ドリル類は校舎授業が再開してから提出とし、それまでは自宅で保管していく。

<p>中学部 高等部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート授業開始時より、ZoomもしくはGoogle Meetを使用し対面授業を実施中。 ・教科担任ごとにリンク先を指定して、時間割に沿って生徒達が接続先を変えて、1~6時間目の授業を受ける。 ・オンライン授業中に、学習内容に関連する動画をクラス全員で視聴したり、教師が提示した資料を見ながら学習を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom内でGoogle DocumentやGoogle Formへ直接タイプをして提出をする。 ・ 教科によっては、授業中のノートを写真にとり、自分の携帯電話等からその場で教師に送信をする。
<p>国際部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、音読資料（範読動画）やパワーポイント資料等による課題を作成しGoogle Classroomへ掲載。 ・途中からは、校舎授業と同じく1~4時間目まで（午前授業で下校）をZoomで対面授業を実施中。 ・対面授業では、パワーポイント教材を画面で示して説明をしたり、教師の範読を追い読みする音読活動等を教室授業とほぼ同様に指導している。 ・4時間中、2.5時間は実際に画面上で授業し、残りの時間は教師から与えられた課題を、子ども自身が接続を切って取り組む時間としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際Ⅰ～Ⅲ（小1~6年齢）はプリント課題やワークシートに手書きで取り組む。 ・ Google Classroom内でGoogle DocumentやGoogle Formへ直接タイプをして提出をする。

【Google Classroomの利点】

- ・土曜日のオンラインによる対面授業に必要なワークシートの印刷や特別な教材の準備について、事前に掲載することができる。連絡もれの心配がないので、それを授業前日に見た子ども達が土曜朝までに授業準備を整えることができる。
 - ・ Google documentやGoogle formに直接入力された課題は、メールを介さなくてもすぐに教師に届くので、双方にとって課題のやり取りが楽に行える。また、画面上で教師がコメント入力したものを子ども達宛てにすぐに返却ができるので、コミュニケーションが迅速かつ効率よく行える。
 - ・ 課題に提出期限を設定できるので、子ども達にとって「何をいつまでにすべきなのか」が把握しやすい。
 - ・ 漢字テストなど、画面で正誤を確認した後に、すぐに子ども達へ点数やアドバイスを知らせることが出来る。
- ★リモート授業が終了しても、課題提示や宿題提出等に活用する予定である。

【ZoomやGoogle Meetの利点】

- ・ 少人数のグループ討論や意見発表交流などに、Break room機能が大変便利である。子ども達の発言の場が増える。（Zoom）
- ・ 画面共有をして、デジタル教科書やパワーポイント資料等を説明しながら授業を進めることが出来て、子ども達にとって視覚的に分かりやすい。
- ・ 子ども達にとっては「一対一の個人指導」のような感覚になるようで、画面に食い入るように授業に集中していたり、指名された時にしっかりと発言が出来る子どもが増えた。

現在は子ども達と顔を合わせ、教室で同じ時間を共有することはできなくとも、補習校と家庭とがしっかりと連携をし、「先週よりもより良い授業を！子ども達のためになる時間を！」をモットーに、毎週の授業づくりに励んでいます。この状況がいつまで続くのかまだ分かりませんが、近い将来に校舎での対面授業が再開される日を心待ちにしながら、今は画面の中で毎週子ども達と会えることを楽しみにがんばっていきます。

🌸 ミネアポリス *****

・本校では毎年2月に小学1年入学試験面接を行っています。筆記試験と面接で1年生の授業が受けられる日本語力があるかを見ています。

・試験に不合格、日本語での日常会話がままならないけれど、どうしても小1に入りたいというご家庭がいらっしゃいます。その場合は試験後家族面接をし保護者の強い意志と今後のやるべき事に同意してもらい条件付き入学としています。

難しい点:条件付き入学のご家庭は、やはりお子さんが勉強についていけない、宿題を嫌がるという理由で夏頃退学してしまうというケースが多いです。

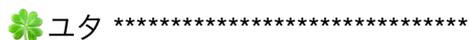
・幼稚部で生活面、言語力、家庭学習面の目標を掲げ、毎年個別面談も行うようにしています。

(添付資料:ミネアポリス日本語補習授業校幼稚部 学習目標)

ミネアポリス日本語補習授業校 幼稚部 学習目標

ミネアポリス日本語補習授業校幼稚部講師会
2019年2月9日作成

	生活面	言語力	家庭学習面
おひさま組	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の環境で遊びを通じて学び、交流する場をつくる。 同年齢の友達と接することにより、これから始まる集団生活に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同年齢の仲間や保護者と簡単に日本語で自分の考えや気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での日本語での読み聞かせの習慣をつける。 授業で学んだ語彙や活動などを家庭でも続ける。
年少組	<ul style="list-style-type: none"> 名前を呼ばれた際に返事をしたり、日本語でのあいさつをすることができる。 簡単なルールを守り、友達と仲良くしたり、グループ活動に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語での問いや指示を理解することができる。 意思や主張を日本語で表現する(しようとする)ことができる。 平仮名に親しみを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での読み聞かせの習慣をもつ。 宿題を保護者の日本語での補助で取り組むことができる。
年中組	<ul style="list-style-type: none"> 親の介助なしにクラス活動に参加できる。 自分の事は、自分でできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名に興味を持ち、文字の形と音を一致して認識できるようになる。 助けが必要な時などに、日本語でそれを伝える事ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の中の課題から、関連性のある事柄に話を広げながら保護者と共に日本語を沢山使用しながら宿題に取り組む。 読み聞かせの中で、本の内容と、自己の経験等を絡めて、保護者との日本語の会話を楽しむ。
年長組	<ul style="list-style-type: none"> 自分の事は、自分でできるようになる。 決められたルールや指示された事に沿った、行動ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名が読めるようになる。 平仮名を筆順に沿って、正しく書けるようになる。 会話をするとときに、単語のみではなく、文で話せるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題を毎日計画的に行う。 本の読み聞かせを習慣にし、読み終えた後、保護者と本の内容について簡単に話しあえるようになる。



ユタ日本語補習校年長クラス 年間カリキュラム

2020年度

週	日付	ねらい	活動	文字	数字、日時、その他	音楽リズム	行事
1	4/4	年長なったことを喜ぶ。自己紹介	・自己紹介			・リトミック（毎週）	始業/入園/入学式
2	4/11	新しい友達や異年齢との交流	みんなと交流をする	く、へ	1～5	・運動会のリズム	保護者懇談会
3	4/18	自分の名前について	自分の名前を書く	つ、し	1～10	♪歌→春	
4	4/25	こどもの日の行事に参加 (春)	*こどもの日の製作	て、そ	1～20	たんぽぽ	こどもの日の行事
5	5/2	伝えたい思いを言葉にする	*母の日の製作	の、ん	数を唱える（数字表）	あいうえおのうた	
6	5/9	野菜、果物の名前を知る	・好きな食べ物	う、と	点つなぎ 1～13	・手遊び→しもばしら	保育（授業）参観
7	5/16	危険について考え行動する	避難訓練に参加	も、こ	点つなぎ 1～30	・絵本→おむすびころりん	避難訓練
8	5/23	クラスのルールを考える	*父の日の製作	い、り	どっちが大きい	せんたくかあさん	
9	5/30	夏休みについての思いを話す	・思いを話しする	に、け	どっちが長い	こいのぼりの絵本	1学期終業式
10	8/22	夏休めで経験したことを話す (夏)	思い出画	た、は	1～40	・リトミック（毎週）	2学期始業式
11	8/29	ごっこ遊びに必要なものを作る	季節の製作	ほ、ひ	1～50 ・日時	・運動会のリズム	
12	9/5	々	々	さ、き	1～60 ・曜日	♪いっしゅうかんのうた	
13	9/12	運動会についての話し	・頑張る事の発表	ろ る	1～70	♪つきみのうた	
14	9/19	行事に楽しんで参加				♪ありがとうさようなら	運動会
15	9/26	行事に参加して楽しかった事 (秋)	・運動会の絵	ち、ら	しりとり	・手遊び	月見会（10/1）
16	10/3	季節のことをイメージしながら政	*秋の製作	わ、れ	なんばんめ	・絵本→手紙の絵本	
17	10/10	策をする	（ちぎり絵）	あ、め	はんたいの言葉	・動画→まんまるおおつきさま	
18	10/17	しりとりについて知る		す、よ	なんばんめ（前後）	♪思い出のアルバム	保育参観
19	10/24	ハロウィンの話と製作	*ハロウィン製作	ま、み	しりとり	♪あわてんぼうのサンタクロ	
20	10/31	々		ね、ぬ	なんばんめ（左右）	ス	ハロウィン（10/31）
21	11/7	発表会の話しをみんなでする	発表会のリズム	か、お	きせつのことば	がぎくげこの歌	発表会の練習開始 ↓
22	11/14	どんな表現をするか	発表会の歌	む、な	なんばんめ（上下）	・手遊び	個人面談 11/7～12/12
23	11/21	どんな役になりたいか	◎ 表現活動	え、せ	時計の読み方	・絵本→いねむりサンタ	
24	12/5	季節の変化を知る (冬)		や、ゆ	時計の読み方	・ 々→てぶくろ	避難訓練
25	12/12	クリスマスのイメージを持つ	クリスマスの製作	ふ、を		・ 手紙の絵本	小学部の発表会を見学
26	12/19	冬休みに楽しみなこと	小学部発表会見学		ぜんぶでいくつ		2学期終業式 クリスマス
27	1/9	今年の頑張りをみんなで話す	・頑張る事の発表	ア行		・リトミック	3学期始業式 正月の行事
28	1/16	書初めを経験する		カ行	時計（何時半）	♪歌	保護者懇談会
29	1/23	生活の中の時間について		サ、タ行	物の数え方	思い出のアルバム	
30	1/30	濁音を知る（が、ど等）	濁音、半濁音、拗音	ナ行	々	ありがとうさようなら	節分
31	2/6	半濁音を知る（ば、ぼ等）	などを言って書いて	ハ行	ぜんぶでいくつ	濁音の歌	
32	2/13	拗音（よう音→きゃ、きゅ等）	みる	マ、ヤ行	あわせていくつ応用	がぎくげこの歌	
33	2/20	反対言葉を知る		ラ、ワ行		あいうえおの歌、がぎくげこの歌	
34	2/27	音読をしてみよう				・表現→おむすびころりん	幼稚部発表会の予行
35	3/6	音読をしてみよう					々
36	3/13	進級することをみんなで話す	・小学校で頑張る事				発表会
37	3/20	お別れに言葉をみんなで考える					卒園式
	3/27	予備日					
	4/3	春休み					

*発表会の取り組み→“おむすびころりん”を予定しているが、どの教材（絵本）を検討中

・→発表の取り組み *→製作の取り組み

◎ クラスの公開授業に日程について（新年度検討）

2018年 1月日本語補習校 年長クラス 年間指導計画

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に必要な基本的な生活習慣を身に付ける。 異年齢との関わりで、優しさやいたわりの気持ちを持ち、また良い見本となる喜びを感じる。 苦手な事にも挑戦する気持ちを養い、達成感や充実感を感じる。 学童期に向けて、自分の持ち物を管理したり、宿題をする習慣を身に付ける。 		
	1学期 (4月～6月)	2学期 (8月～12月)	3学期 (1月～3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 年長児になったことを喜び、自覚を持って行動しようとする。 自分の事を表現すると共に、お友達の事を知り、共通点や違う点を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士を認め合い、協力し合って活動する。 自分の思いや意見を言葉で表現するとともに、相手の思いを受け止め、互いに認め合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しや目標をもって活動を楽しみ、自分への自信や就学への期待を持つ。 仲間と一緒に一つの目標に向かって力を合わせて取り組み、達成感や充実感を感じる。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動遊具に挑戦し、工夫して遊ぶ。 いつもと違う体の異常を感じたら、自分から指導者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 風邪の予防について話し合う。 基本的な生活習慣が身に付き、自信をもって行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の予備に関心を持ち、すすんで手洗いやうがいなどを行う。 成長を喜び進学へ期待を持つ。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 新しいクラスメートを助けたり、興味をもって仲良くする。 異年齢との関わりの中で遊びをリードしたり、小さい子にいたわりの気持ちをもったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力したり、役割を分担したりして力を合わせることでつながりを深める。 友達同士のトラブルを話し合いで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者を頼らず、仲間と相談し、目的をもって遊ぶことを楽しむ。 友達と共通の目的に取り組み、やり遂げようとする。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境、時間割に慣れる。 教室での決まりを良く理解し守る。 春の訪れを感じ身近な自然を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、好奇心や探求心をはぐくみ豊かな感性を養う。 季節の移り変わりに関心を持ち楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、数・量・形・時間などに気付き、遊びの中に取り入れる。 入学への期待を持ち、自覚を持って生活する。
言語	<ul style="list-style-type: none"> 親しみをもって日常の挨拶をする。 返事や質問等の意思表示を自発的に行う。 書くことに興味を示し、意欲的に学習する態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> しりとり遊びなどを通して、言葉を使うことの楽しさに気付く。 家庭で取り組んだ課題(おうちでやってみよう)を授業で喜んで発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や数字に興味や関心を持ち、手紙を書くこと等で表現して楽しむ。 リズムカルな言葉(早口言葉・なぞなぞ・言葉遊び)を知り、言葉の楽しさを覚える。
表現	<ul style="list-style-type: none"> みんなと一緒に歌ったり、踊ったり、音やリズムを楽しむ。 リトミック-年長として他年齢のお手本となる 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居を見たり聞いたりしてイメージを膨らませ、感想を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の力を発揮する喜びや、工夫して表現する楽しさを味わう。

項目	レベル (ABCで評価)	備考欄
言語認識		
話す		
<ul style="list-style-type: none"> 日常あいさつを身につける 自分の気持ちや考えを伝える 身近な物の名前が解り、その特徴などを伝えることができる しりとりやのルールを理解して、つなぐ言葉を探ることができる 簡単な反対言葉を言う 		
<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものの数え方がわかる(何枚、何本、何台など) 		
聞く		
<ul style="list-style-type: none"> ストーリー性のある絵本を聞き、イメージを膨らませる ゲームや遊びのルールを理解して楽しめる 		
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな擬音語があることを知る(ザーザー、ゴロゴロなど) 		
読む		
<ul style="list-style-type: none"> ひらがな五十音の読みができる 簡単なひらがな言葉を読むことができる いくつかのカタカナを読むことができる 		
書く		
<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆を正しく持ち、スムーズに書くことができる 自分の名前をひらがなで書くことができる ひらがなの形や筆順に気をつけて書くことができる カタカナに興味をもって書いてみようとする 		

ユタの本語補習校 2020年度 年長クラス 1学期(9回)

担任 岩永 千恵子

アシスタント ランド 容子

◇1学期のねらい

- ・年長児になったことを喜び、自覚を持って行動しようとする
- ・先生、クラス(他のクラスのお友達)と関わりながら過ごす
- ・補習校、クラスの決まり事の大切さに気付き、行動する

◇各項目の目標

- ・健康……戸外で元気に身体を動かして遊ぶ。手洗いを丁寧にする
- ・社会性……他の人の話をよく聞いて理解をし、又自分の気持ちも伝える
- ・言語……今まで学んだひらがな等、数、カタカナをさらに深めていく
自分の名前を書く、音読を試みる
- ・表現……歌を元気に歌う、製作などを意欲的に取り組む

【1学期のカリキュラム】

週	月日	課題活動、製作	文字	数字・他
1	4/4	自己紹介		
2	4/11	チューリップの花の折り紙	く、へ	1~5
3	4/18	自分の名前を書く	つ、し	1~10
4	4/25	こどもの日の話をみんなでする 製作(かぶと)	て、そ	1~20
5	5/2	伝えたい思いを言葉にする 製作	の、ん	数を唱える
6	5/9	野菜、果物の名前を知る	う、と	点つなぎ、1~13
7	5/16	危険について考え行動する	も、こ	点つなぎ、1~30
8	5/23	クラスのルールを考える	い、り	どっちが大きい
9	5/30	夏休みの思いを話す	に、け	どっちが長い

◇1学期の主な行事

4/4 入園式、保護者会総会

4/11 保護者クラス懇談会

5/4 こどもの日の集い

5/9 授業参観 5/16 避難訓練

5/30 終業式

6/6~夏休み (2学期開始日 8/22)

✻ イスタンブール *****

準備クラス（幼稚部5歳児）オンライン授業について

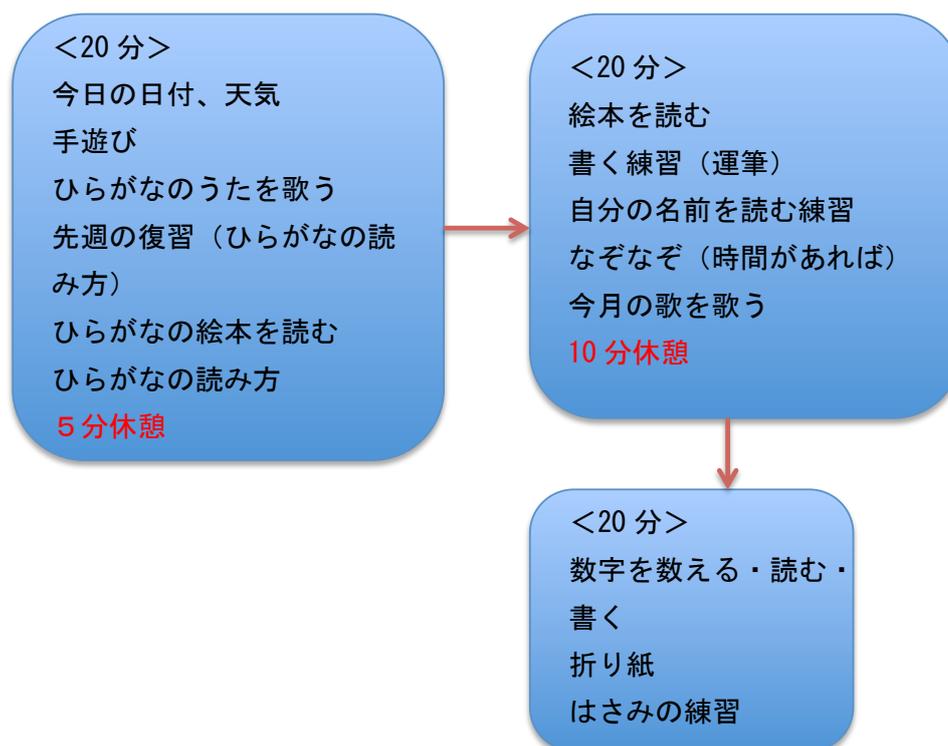
イスタンブール補習授業校 担当：竹葉 千恵

- 現在、本校の準備クラス（幼稚部5歳児）は5名、日本に一時帰国している児童も参加している。
- ZOOM を使用しての授業実施、デバイスは ipad を使用。
- 手遊びをする時やフラッシュカードを見せる時には全面カメラを使用、書く練習やおりがみを折る時には背面カメラを使用。
- ひらがなの復習や絵本を読む時には、グーグルドライブのスライドを使用して共有している。
- 保護者の方と一緒に授業に参加してもらっている。

【準備クラス オンライン時間割表】

9:45	10:00	10:20	10:25	10:45	10:55~11:15	
各家庭で	授業準備	手遊び	休憩	絵本	休憩	数字
	ひらがな（復習）		書く練習		おりがみ	
	ひらがなの絵本		自分の名前を読む練習		はさみの練習	
	今週のひらがな		今月の歌を歌う			

【75分のプログラム】



【プログラムをシェアした他校の先生より質問】

Q: 「(園児が) 自分の名前を読む練習」というのはどういことでしょうか。

A: 1学期は自分の名前を書く練習をします。その前に、カードを使って自分の名前を読めるようにしています。

教室での授業では、カードを渡して並べてもらっています。

オンラインの授業では、一人ずつカードを見せて、読んでもらっています。

読む練習をしてから、書く練習をしています。

このカードは、毎年入学式の日には子供達に渡しています。

カードの見本



🍀 ヘルシンキ *****

③

②

①

えんぴつ・クレヨン
4 くれえぶ・ぼてと・どうなう

いらっしやいませ

11がつ

🌸 ニュルンベルク *****

◆補習授業校情報交換会シリーズ #7◆

テーマ「やっぱり大変、1年生と幼稚園」

オンライン授業 これまでのまとめと感想

～2020年5月2日（土）－ 6月6日（土）6回～

ニュルンベルク日本語補習授業校 1年生担任
篠木千栄

児童

6名：男子3名 女子3名（現地小学校2名 インターナショナル小学校1名 現地幼稚園2名 インターナショナル幼稚園1名）

授業形態

- 1回目：クラス懇談会及び個人面談（顔合わせと情報収集）
- 2回目～4回目：2グループ（小学校進学組と未就学組）に分けて各40分×2回の授業
- 5回目～6回目：クラス全体で（45分+30分）昼休憩を挟んで2セット 全4回の授業

授業方法

- ・主にパワーポイント画面を共有し、板書の代わりとしている。
- ・授業プリントは事前にメール配布し、保護者に印刷していただく。
- ・添削については、画面上で確認の後、まる付けは保護者をお願いしている。今後、日記等の作文が始まるとメール添付等で受け取って添削をする予定にしている。
- ・宿題は保護者から写真やスキャンで送っていただき、到達度を確認。

感想

これまでの授業の全体的にみると、オンライン授業を始める前に想像していたよりも概ねうまくいっていると感じている。最初から画面を通しての会話に慣れていた児童も、そうでない児童も、早い段階で円滑に受け答えができるようになり、授業として成り立たせることができた。保護者のサポートも厚く、授業中に担任がフォローに入れない部分はすぐにその場で対応していただいている。

高学年や中学部から、授業効率の良さがオンライン授業のメリットとして挙がっていたが、1年生においても、そういう部分も確かに感じられる。児童同士の私語がなく（できず）、板書やプリント配布にかかる時間も削られ、その他授業中起こる諸々の出来事に対する注意もほとんど必要ない。とはいえ、やはり1年生のオンライン授業に関しては難点が多いと言わざるを得ないのも現状である。一部の児童にとっては、次から次へと入って

くる情報がかえって集中力を欠く要因となってしまう、20分程度で疲れてきてしまうことも多い。これは教室授業が再開してからも授業者が念頭に置いておかなければならない重要な視点と考える。授業効率だけを重視し、機器を多用するのではなく、丁寧に板書し視覚情報を掲示することは、低学年児童にとって授業の重要な一部分であると気づかされた。

以下、これまでの授業で感じた難点を箇条書きで挙げる。

(機器の不具合については除く)

- ・家庭という空間での誘惑。(玩具、テレビ、家族の話し声など)
- ・それぞれの学習環境の違い。個室を与えられている児童もいれば、リビングで授業を受ける児童もいる。
- ・本来、保護者と別れて教室で授業を受けられるはずの児童が、保護者が近くに居ることで甘えてしまい、何でも保護者に確認してからでないと発言できない。
- ・現地やインターナショナル校で小学校へ進学している児童と幼稚園に通う児童の差が教室よりも大きく感じられる。また、授業者が直接フォローに入ることができない。
- ・特定の児童のみへの声掛けがし辛い。
- ・児童の反応がないとき、何に困っているのか汲み取りにくい。
- ・教室の授業では、その時に取り組むプリントだけを配布するが、オンライン授業ではその日に使うもの全てを事前に印刷してもらっているため、その授業と関係ないプリントが気になってしまう。また、勝手に取り組み始める児童もいる。
- ・教室での板書では、授業者が1文字ずつ書く過程が児童の目にも見えるが、パワーポイントのスライドでは、言葉または文章が一度に出てくるので、まだ文字(ひらがな)に自信のない児童には一度に出る情報量が多すぎる。

評価について

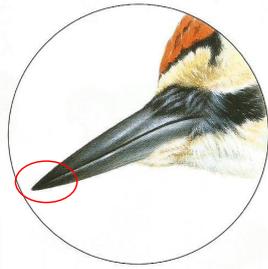
学期ごとの評価については、現段階では皆一律に「がんばった」という観点でしかつけられないと考えている。感想でも述べたように、保護者と一緒に授業を受けている児童もいれば、個室でひとり取り組んでいる児童もいる。どの程度のサポートを保護者から受けているのか図りにくく、教室のように皆同じ環境で授業を受けているわけではない。宿題のメール提出に関しても、保護者の対応の差が大きい。もちろん、授業者には自ずとそれぞれの到達度は見えてくるものであるが、このような環境下で、ある一定の基準を基に「よくできた」「できた」「がんばろう」での評価は適切ではないと考える。

学期末に再度個別面談時間を設け、書面での評価が難しい部分を補う予定にしている。

添付ファイル：授業で使用のPPファイルをPDFに起こしたもの

くちばし

いろいろな
くちばしのかたちを
みてみましょう。



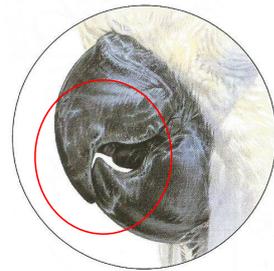
さきが
するどく **とが**った
くちばしです。
これは、なんの
くちばしでしょう。



これは、きつつきの
くちばしです。
きつつきは、
とがった くちばしで、
きにあなを あけます。
そして、きの なかに
いる おしを たべます。

1 くちばし なまえ

① どんな くちばしですか。
② **さき**が **するどく** **とが**った **くちばし**ですか。
③ この くちばしで、なにを **き**ますか。
④ **さき**は、なんですか。
⑤ **さき**の **なかに** **い**る **おし**は、なんですか。



ふとく**て**、
さきが **ま**が**つ**た
くちばしです。
これは、なんの
くちばしでしょう。



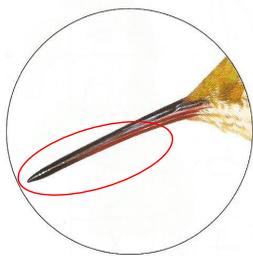
これは、おうむの
くちばしです。
おうむは、まがった
くちばしの さきで、
かたい たねの
からを わります。
そして、なかの **み**を
を たべます。

2 くちばし なまえ

① どんな くちばしですか。
② **ふ**とく**て**、
さきが **ま**が**つ**た
くちばしです。
③ この くちばしで、なにを **お**う**む** **の** くちばし。 **き**ますか。
④ **さき**は、なんですか。



この くちばしの
さきで、**か**たい
たねの **み** **を**
からを わります。
④ **え**きは、なんですか。
たねの **み** **を**
なかの **み** **を**
たべます。



ほそく**て**、
ながくの**び**た
くちばしです。
これは、なんの
くちばしでしょう。



これは、はちどりの
くちばしです。
はちどりは、ほそながい
くちばしを、はなの なかに
いれます。
そして、はなの **みつ**を
すいます。

算数1 オンライン授業で人気のあった活動
2020年4月・5月

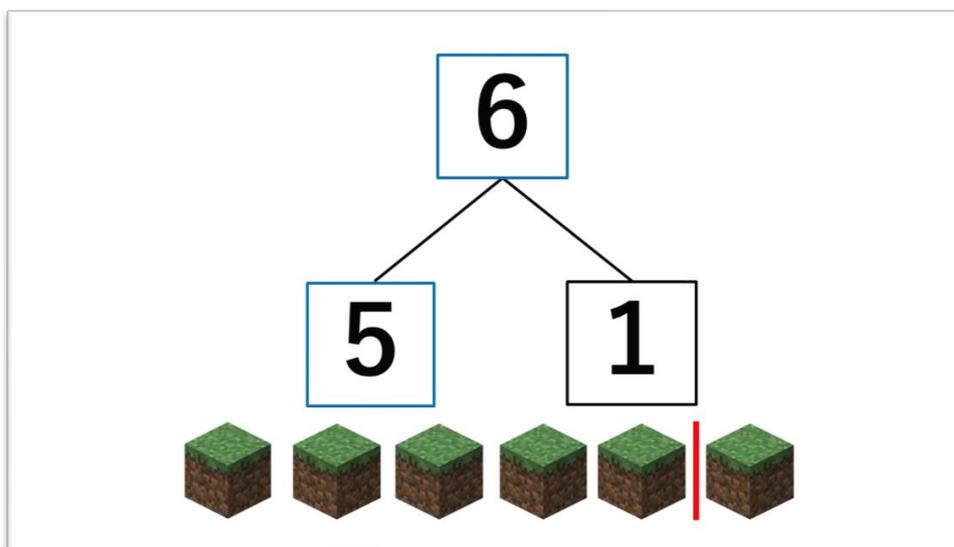
オースチン日本語補習授業校
算数1・中三国語 担任 橘田 かおり

5になるじゃんけん 単元名「なかまづくりと かず（いくつと いくつ）」

- ・できたら、講師がボランティアと例を見せるのが一番。
- ・はじめはゆっくり、だんだん早く。とにかくリズムカルに。
講師「5になるじゃんけん、じゃんけんぽん♪」
児童「じゃんけん、ぽん♪」
- ・「0になるじゃんけん、じゃんけんぽん♪」
- ・3や4などでも「いくつといくつ」の弱い組み合わせを繰り返し遊んで覚えられる。
- ・両手を使って6以上でも面白い。「10になるじゃんけん、じゃんけんぽん♪」
- ・片方を数字カードや数図カードにしてもおもしろかった。

こども大好きマイクラフト 単元名「なかまづくりと かず（いくつと いくつ）」

- ・同じ数えるのでもこれなら楽しいようで、会話が弾んだ。
講師「これ知ってる～？」
児童「知ってる～」 「遊んだことある～」
- ・普段はスライド機能を使わないが、この時は児童を驚かせるために使用。数字によってブロックを変えた。



きえたひらがなをさがせ 単元名「なんばんめ（ばしょは どこかな）」

・昨年までは年度末に「ばしょをあらわそう」で「かんじ さがし」をしていたが、教科書改訂で漢字は使用できなくなった。そこで、国語1の授業とリンクさせてみた。

・これは宿題の練習用。宿題では、家族で遊べるようにシートAとシートBでインフォメーションギャップのゲームになっている。

・黄色いハイライト部分で講師が例を示し、児童が後をついて言う練習をした。

講師「下から2番目、左から2番目の、ひらがなは、なんですか。」

児童 繰り返す。

講師「下から2番目、左から2番目の、ひらがなは、、、、『い』です。」

・教科書で練習するときにも、常に「上下」を赤、「左右」を青で書いておいた。

・児童の質問に合わせて数字を書きこむときも、赤青を統一させた。

・「上から二番目」で止まってしまった児童には、上から二番目の空欄全てを指して「これとこれとこれがあるねえ。どれかな？」

・時間が無くなってしまったが、子供達が言いたいと言ったので「くまさんが、ともだちの りすさんに ききにいきました。」を暗唱して、講師がマスを埋めて完成させた。（もはや算数の授業ではなくなっていたけれど、楽しかった。）

		うえ		
	ま	り ¹		く
		き	す ² ₃	も ² ₁
ひだり			さ ³	だ ³ ₁
	○	い ² ₂	ん ⁴ ₃	
	した	き ₁	に	が

○○から□ばんめ

△△から□ばんめの

ひらがなは、

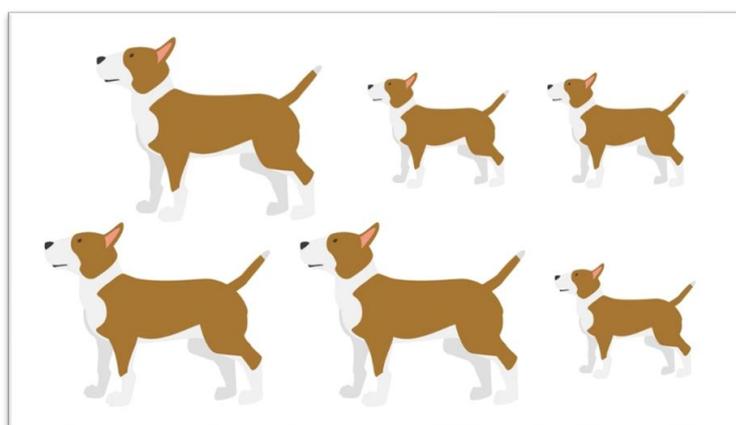
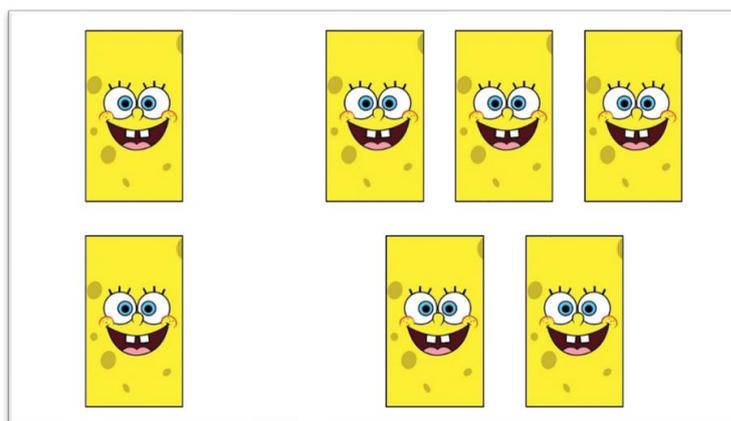
なんですか。

ぱっとみてかぞえよう 教科書1①「しあげよう」

- ・「いくつと いくつ」を利用して数を数える練習。
- ・2秒ほど絵を見せて、数えさせる。(絵の例を下に示す)
- ・音声 OFF で、数えた数は指か数字カードで答えさせた。
- ・数えた／見た通りに指を出す児童がいた。例) 6匹なら、右手3本・左手3本。cf. 5本と1本。
- ・どう数えたか／絵を見て気づいたことなど、を答えさせた。

ぱっとみて かずが わかるかな。

くふうして かぞえよう。



「学習サポート」に向けて

プリンストン日本語学校

はじめに 令和2(2020)年5月1日

先日、プリンストン日本語学校教職員向けの全体メールで配信しましたが、本校は当初、4月19日からの通常授業開始を予定 していましたが、ライダー大学の使用制限により5月17日まで使用制限が延長され、5月中旬以降の開校に向けて準備を進めて いたところ、7月まで学校が使用できないということになり、5月17日から、幼稚部、文科省・プリンストンコース、高等部において通常の授業に戻るまでの期間、「学習サポート」を開始することとなりました。

本校では対面による授業を通常の授業として提供していますが、今回はそれが叶わないため、やむなく「学習サポート」という 形で新年度、令和2(2020)年度をスタートさせます。通常ではないということを保護者の皆様にご理解いただき、私たち自身もそのことを理解し、今までとは違う形で工夫して授業を提供し、子供たちの学びを支えて行かなくてはなりません。

さて、「学習サポート」は授業なのか、ということになると、リモートによる双方向での授業を行っている学校もありますが、授業の「定義」ということを考えますと、簡単に言えば「学校などで学問を教えること」になりますが、具体的に中身を掘り下げて いくと、解釈はきりがありません。授業は、学校教育などにおいて教科・科目などの教育として行われるものでもあり、その指導 形態は様々であると言えます。本校の先生方が意図的・計画に学習内容を組み立て、子供たち提示し、そこに学習活動が生まれ、子供たちの知識・理解が深まれば、これは授業として成立していると考えべきだと思います。対面が基本ですが、うまく回りだ せば個別的・主体的ということで、学びという点では違う学習効果も出てくる可能性もあります。つまり、先生方の今までに蓄積 されてきた専門的な知識、指導方法等をどのように「学習サポート」の中で具現化していくかが、先生方の工夫のみせどころでも あると思います。

「学習サポート」は、前に書きましたが、当初、4月19日スタートの場合は、行えなかった2回分を飛ばし、第3回目の授業 からスタートしようと考え、5月17日にスタートになった場合もカリキュラムの7回目からのスタートを考えていましたが、現 在の状況から判断し、今後それぞれのコース、学年のカリキュラムの達成は目指さなければならぬので、5月17日を新年度の 初日として(新学年の始まりの部分は順序通りに進めなければならぬことも多いので...)学習サポートを開始し、通常の1回目の 授業として始め、少しずつ内容を濃くして授業を進め、6月21日までの6日間できるところまで進めていただき(無理するこ とはありませんが)、残ってしまった単元の学習については、学校として、保護者の皆様に協力を求め、夏休み中に子供たちと共に 自習をお願いする形にしたいと思います。この点は学校としては心苦しいですが、物理的に時間が消失してしまった以上、復活は できないので、ご理解いただくしかないと考えています。そして、夏休み明けの8月16日の授業日からは通常の対面授業を始め、 その日からは、例年の通常のカリキュラムに戻していきたいと思ひます。

今回、先生方から、社会科の授業、算数・数学の選択授業についても、今後のカリキュラム上「学習サポート」を行った方がい いのではないかという前向きなご意見を頂きました。小学部高学年から中学部は社会科の時間数も増え、一日の時間割の中でのウェイトも大きくなりますが、今回はあくまでも国語のサポートをお願いします。つまり、一日4時間、国語を設定し、その分を進 め、授業が行えなかった部分を取り戻す方向で組み立ててください。それから算数・数学については本校では選択教科という位置 付けであり、既に希望している児童・生徒がいる中、希望していない児童・生徒もいるので、公平性の課題も出てきますので、学 校としては4時間の時間割の中で行われる内容は、国語、日本語の授業のみの「学習サポート」とします。

算数・数学の心配も確かにありますので、これに関しては新年度始めの学校新聞(5月17日号)で、学校として、やむを得な いお願いとして、社会科、算数・数学に関して、8月16日の通常の授業開始予定日には、社会科は、P〇〇ページの「〇〇〇〇」 から、算数・数学はP〇〇ページの「〇〇〇〇」から始まるので、今からの期間と、夏休みを通して、各ご家庭の協力をお願いし、 自学・自習をしておくように伝えます。現状ではいたし方ない措置であると思ひます。

最後に、各コース、各部で細かいところでの違いが生じる部分はあると思いますが、基本的な部分は揃えないと保護者からの信頼が得られないこととなります。今回提示した「学習サポート例」を基本にしながら「記入枠」も活用し、コース、学部の中では必ず統一を図るようにして下さい。自学自習は大変ですが、そんな中でも子供たちが楽しく取り組めたらいいなと思っています。

1 学習サポート おうちの人でなく、先生方が言うから意味があるのです。「学習サポート」計画表の作成に当たっては、添付の『学習サポート計画表枠』の記入例を参考にしながら、授業日1日分の指導予定を時間割に沿って組み込んで作成します。今まで、先生方がそれぞれの学級で毎週作成していた「指導計画」「指導内容」の表に、子供たち自身が取り組む学習活動を入れていくイメージです。従って、『学習サポート計画表枠』の「学習内容」の欄には先ず、普段の授業の計画を書き込み、それに子供の学習を想定しながら活動を入れていきます。この計画表には実際の子供の活動も入るので、見た目は学習指導案の指導計画的な形になっていくと思います。「学習内容」に、授業の流れと、子供の学習活動が入ったところで、子供たちには、どのように学習するのが見えて来ます。さらに並行して右側に、「課題(取り組むポイント)」という欄があり、そこに子供たち一人一人が本時で実際にこなさなければならない課題を書き込みます。「学習内容」の欄とほぼ連動するので、コピー&ペーストでも構いませんが、「学習内容」の欄よりも「課題(取り組むポイント)」の欄の方がより具体的で、子供たちが「ここで何をすればいいのか」分かるようにします。言い換えれば、ここだけ見れば、その時間にやらなければならない課題が分かるようになります。今回の「学習サポート」の中では、学習の仕方を示すと共に、様々な教材の中から、何をこなしたらよいかを先生方が整理し、指示することにより、子供たちはこの学習活動に何をすべきか、課題に効率的に取り組む、理解できるようになります。

(1)一番上の枠、「単元名、準備」の記入について ※以降計画表に使用する漢字と言葉は該当学年のレベルに合わせる 「単元名」は1日の学習の中で、一つに収まらず、いくつか入る場合があります。それに合わせて必要に応じて増やして下さい。「学習サポート」計画表については、モデルは1ページに収めていますが、必要に応じて長くなっても構いません。右の欄の「準備」に関しては、その日の学習に必要な教科書や副教材ノート等、予め準備するものを示し、学習が始まってから、何度も席を離れることがないようにして下さい。「今日の目標」の欄は子供向けに簡単な目標でもいいと思います。これに並んで「自己評価」の欄を設定しています。後でも触れますが、あくまでも1日、自分で取り組んだことへの振り返りです。保護者にも見てもらえることでしょう。

(2)学習時間割について 先日4時間というふうに伝えたために、240分という誤解を生んでしまいましたが、あくまでも学校の時間割の4時間で、1単位時間は本校では基本的に45分間です。右に本校の標準的な午後の時間割を示しています。これは、あくまでもイメージで、この時間帯で取り組む子供もいれば、マイペースでどんどん進めて終わらせてしまう子、又は、時間が掛かる子、さらには全く違う時間に取り組む子がいるかも知れませんが、できれば、毎週時間を決めて取り組めるようになるといいと思っています。あくまでも4時間目までの授業を提供した形になりますが、結果的に中身的には、授業中の子供たち同士のやりとり等がなかったりするため、全体的には半分位の取り組み時間になると思います。

(3)1日4時間の枠で作成しましょう。 普段作成しているように4時間の枠で作ることが大切です。4時間というと、ボリューム的には大きく感じますが、子供たちには取り組み方やスピードに差があるので、4時間分に区切ることが大切で、1時間目は30分で終わる可能性もありますし、2時間目は45分で終わらないかもしれません。それでよいのです。子供たち自身にメリハリを感じてもらえればいいと思います。また、子供によっては、1時間目の課題は早く終わって、2時間目は少し時間が掛かって...3時間目は...4時間目は...ということで、区切りごとに達成感を味わうことができましたらと思います。そのあたりを想像しながら、カリキュラムに沿って考え、長続きできるようにしてあげるといいのではないかと思います。実際に黒板の前で授業を行わない分、時間的には速く進むこととなります。従って作業が早い子は、4校時分の学習が、2時間掛からない場合も出てくると思います。子供たちの集中力を考えると、1時間の授業でしたら、教室だったら先生方の話術と子供たち同士の関わり等で45分間持ちますが、自分だけで「学習サポート」計画表に沿って取り組むと、

日課表 時間

1校時 小学部 13:05~13:45(40分)

その他 13:00~13:45(45分)

2校時 13:45~14:30 (45分)

休み時間 (14:30~14:45)

3校時 14:45~15:30 (45分)

休み時間 (15:30~15:35)

4校時 15:35~16:20 (45分)

おそらく集中力を保つのはその半分くらいだろうと考えられますが、課題の出し方を工夫して、書く活動と、読む活動、調べる活動等を組み合わせたりして、集中力が保てるようにして下さい。

(4)教材の活用について 教科書等の活用はもちろんですが、学校を通して保護者が購入した副教材(ドリル、学習帳、プリント等)はフルに活用し、取り組むように指示してください。また、プリンスコースでは教科書、教材の他に漢字も含めて自作の教材に取り組ませることも多いと思いますが、今ある教材も生かしながら、どのコースも作業や活動が文章による言葉での指示が中心になるので、子供たちが分かり易く取り組めるようにして下さい。

(5)学習サポートは学ばせること 学習の流れに沿って子供たちに活動を指示していきませんが、「学習サポート」計画表は単なる子供への指示書ではなく、その学年の子供に合わせた肉付けが必要です。手順として、まず子供の活動を組み立ててみて、後から授業をしているように、子供たちの顔を思い浮かべながら(まだ会っていませんが)子供たちに語りかけるような言葉を入れたり、ヒントやアドバイス も入れたりしていくと、理解され易くなると思います。

(6)保護者のサポートは適度に 「学習サポート」は基本的に子供自身の取り組みですが、保護者が見取らなければならないところ、保護者が関わらなければならないところは、明確に示す必要があります。「音読」のチェックなどは保護者の支援を必要とすることになりますが、課題の答え合わせ等、子供たち自身が自分でできることは、自分で取り組めるようにして下さい。

どの家庭でも送付されたデータを直ぐにプリントアウトできるとは限らないということも考慮してください。従って、学校から送付した教科書やドリル等の副教材、それから、自分のノートを使用させることを中心に計画してください。

(7)「学習サポート」は個別指導 「学習サポート」は担任の先生一人から、多くの学級の児童・生徒全員への発信となりますが、児童・生徒たちから見れば先生一人との個別指導の感覚です。子供たちは思っている以上に、先生から自分自身への思いを感じ取ると思います。個人差はありますが一人一人の力を伸ばすつもりで作成してください。

(8)学習活動の評価は自分自身で 「学習サポート」は基本的に日々の課題については自分自身でまるつけ等を行う形になります。低学年においては必要に応じて保護者に協力を依頼してもいいと思います。自分自身で答え合わせをしながら、学習の成果を自己評価できるようにすることも大事かと思います。自己評価の形式は、計画表の枠にある、4・3・2・1でも、A・B・Cの形式でも、各時間に設定してもその方法は担任の裁量で構いません。一日の学習を児童・生徒自身が振り返られるようにして下さい。

2 自習の具体例

○教科書及び教材の音読

音読は国語の学習の基本です。目で見て考え、正しく発音して自分の音を耳から聞くと、間違いにも気が付き、脳も活性化し、内容を捉えやすくなります。最初は拾い読みでも、繰り返すと少しずつ正確に読むことができるようになり、文章が頭に 入れば、それを活用することができるようになります。学習活動が単調にならないように、適宜設定するといいと思います。音読、朗読の成果は前にも書きましたが、保護者にも聞いてもらい、チェックしてもらいたいと思います。

○ノートの使い方の指導

「学習サポート」からの新学期のスタートなので難しい面はありますが、新しくノートを使う際のきまりについて、学年や 発達段階に応じて指導していく必要があります。最初は基本的なことだけ示し、書く活動も音読と同様、大切なアウトプット となるので、ノートを使わせるようにしましょう。

○「視写」

教科書をノートに書き写す「全文視写」は、書く力を付ける練習になる上、文章のきまり事を知り、文章を

書くことへのハードルを下げることができます。

○教科書に使われている言葉の意味を調べる

- ・言葉集めをしよう

○教科書に使われている漢字の学習をし、使い方を覚えるようにする ○「書くこと」

- ・自己紹介文を書こう 名前、好きなこと、得意なこと。
- ・○○のリーフレットを作ろう。
- ・日々の出来事などを書いたり、詩や物語を作ったりする。・関心のある事柄について、テレビやインターネットなどを通して情報を収集し、事実から分かったことと、感想や意見をけて書いたり、自分の考えをまとめたりする。・文章を読んで、登場人物の心情や性格が分かる描写を抜き出してみよう。

○「読むこと」

- ・教科書の文章や作品などを読み、感じたり考えたりしたことをまとめる。・教科書の文章や作品を読むために、必要な語句の意味や漢字、言葉のきまりなどについて調べる。・教科書の古文や漢文を音読する。

- ・長文読解力をつけるために繰り返し文章を読む。・登場人物の心情や性格がわかる描写を抜き出してみよう。・描写から、作者が伝えたかったことは何だろう？

- ・登場人物を中心に感想をまとめてみよう。・説明的な文章ではキーワードやセンテンスを探してみよう。・その文章に対する自分の考えを書いてみよう。

○その他

- ・ことわざについて調べてみよう。・文章に出てきた熟語について調べてみよう。・慣用句について調べてみよう。・先生が指示した言葉を使って短文を作ってみよう。

3 宿題について 宿題は出す部と出さない部があります→部で統一を図る 通常の授業日と同様、必要に応じて、無理のない範囲で示して下さい。無理のない範囲という表現が曖昧ですが、現在、児童・生徒は平日は現地校でのリモート及び課題を与えられる形での授業で過ごしています。そこに毎週日曜日にプリンストン日本語 学校の国語・日本語の学習課題が与えられ、自分で課題をこなす形の学習時間が多くなっていることも意識する必要があります。ただし、本校としては、国語、日本語の継続、繰り返しということは大事なことである上、夏までに少しずつ取り戻さなければならない内容もあるので、考慮しながらも総合的に判断していく必要があります。

普段から日本語学校では、保護者は第二の担任、家庭は第二の学校ということで協力をお願いしていることでもあるので、学校の宿題にもうまく関わってもらいながら、学校と家庭の両輪で学習効果を高めていくことも大切なことかと思えます。

今、学校で借りることはできませんが、日本語の本を少しずつ読む宿題も家庭の協力ですべてできると思います。

4 配信について

(1)「学習サポート」計画表は、各部長、ディレクターに定められた日までにメール添付等で提出します。

(2)その後、自分の学級の保護者に「学習サポート」計画表のデータを配信します。

各家庭向けには、※今年度から以下1の、グーグル・クラスルームでの配信を基本としていく予定です。

グーグル・クラスルームの設定が日程的に間に合わない場合は、2の昨年度まで(例年通り)の方法で、先生方が全保護者のアドレスをメーラーに登録して一斉配信を行います。グーグル・クラスルームは期日までにIT係さんが作成してくれることになっています。数年前から保護者のIT係が中心となってGoogle for Education上のグーグル・クラスルームを活用する準備を進めてきました。既に何人かの先生方も活用され

ています。使い勝手としては、今まで本校が活用してきたGoogle・フォルダに似たイメージです。最近では、運動会の「種目別進行表」「運動会の反省」学習発表会の「各学年の台本」の保管、改訂作業等に活用されています。その中の一つがGoogle・クラスルームです。

何よりも今回は、IT係の木内さんが中心になってサポートしてくれますので、分からないことがあったら、木内さんが対応して下さることになっています。各クラスのGoogle・クラスルーム自体は、IT係の方で作ってくれていますので、最初の設定で、担任から保護者に向けてGoogle・クラスルームへの招待をしなければなりません。これに関しても、先生方が自分の学級の保護者のメールアドレスを管理していれば、招待することは可能ですし、時間は要しますが、IT係にそれを依頼することもできます。保護者は、担任の先生又はIT係からの招待を受け自分のクラスにログインします。その際にGoogleのアカウントが必要になりますが、現地校の多くがGoogle・クラスルームを活用しているので、既にGoogleのアカウントを持っている保護者と子供が多いと思います。また、本校のGoogle・クラスルームに対して、保護者は自分とは別に子供のアカウントで登録する場合もあると思います。Google・クラスルームに関しては、子供たちが中心で取り組むので、その設定も許容されます。

1 Google・クラスルームを通じての一斉配信。既に作られている先生方の学級のGoogle・クラスルームに入り、授業→作成→課題で、そこに「学習サポート」計画表を読み込む形になります。慣れてしまえば、2の保護者向けのメールを作成して「学習サポート」計画表を添付して送信するよりもはるかに簡単な作業になります。何かコメントを送る場合もその場で作成して送ることも可能になります。実際Google・クラスルームの中でも「学習サポート」計画表を作成することはできますが、いつもデータをGoogle・フォルダに置いておくのが不安だったり、ワードでデータを作成の方が安心(私はワードで作成しています)だったりする場合は、今まで通りワードで作成し、その週の「学習サポート」計画表のデータをそのままGoogle・クラスルームにドロップすれば、各家庭に届けることができます。Google・クラスルームは「学習サポート」計画表や教材の配信の他にも、様々な機能があるので、発展性が望めます。慣れて、使いこなせるようにしていきましょう。

2 先生方からメールソフトを使って添付ファイルで配信 例年の通りの年度当初の各学級の事前準備で行っている形で、全保護者向けのメール送信先(アドレスを)を確認し、全家庭への「学習サポート」計画表の送信準備を行い、授業日の前日に送信します。

○配布資料については、「学習サポート」計画表の他に、普段の授業日と同様、「学級だより」等も今まで通り配信可能です。もちろん8月からの配信でも構いません。

5 通知表について

8月16日から通常の授業が始められた場合、出席日数も生じるので、通知表自体は10月4日の前期の終了時に、出席日数等を入れて発行することになります。事務所の方としては、今後変わる可能性もありますが、8月からの授業もありますし、8月からの所見(書ける範囲で)や、評価可能な項目はする形になると思います。

6 他の部の情報について

(1)幼稚部

○週に一度、プリントを二枚程度配布します。和田先生保有のPDFのデータより、ニクラス配布。

プリントは、保護者と一緒にやってもらい、希望する人は夏休み明けにまとめて担任に提出してもよい、提出すれば担任が丸をつけて返却する。毎週の提出や添削などは行わない。

○夏休みの宿題は、別途配布する予定。○幼稚部としては、メールも子供が読めるわけではないので、先生とのつながりを少しでも作るために、先生が話す動画を見

て、添付のプリントで文字の勉強をしてもらいたいという希望があり、内容的には担任が普段行っている文字指導の様子を10分程度の動画にとって、配信したい意向。双方向ではなく、予め作成された動画データ

の配信とのこと。

(2)高等部

教材は教科書、および担当の先生が作成した教材を使用。

○国語・文学

1 テキストを指定(教科書および副教材)し、課題も与えて自習。次回に解説・解答を配布。 2 説明の必要な部分は、スライドを配布して、説明の音声ファイルと一緒に見てもらう。 ○時事問題・小論文

1 時事問題は、資料及びスライドを配布して、音声ファイルと共に見てもらう。

2 小論文は課題を出して、提出させ、添削・講評を戻す。

○日本史

1 スライドを音声ファイルと共に見てもらう、予め作成されたデータで一方通行の講義。

2 簡単な復習用の課題を出し、次回に解答・解説配布。

○漢字

1 各人の目標級に合わせて、過去問、教材を配布して自習。 2)その他、四字熟語、漢字クロスワードなどを配布して自習

「学習サポート」※の枠をモデルとして下さい 計画表 記入例 (小学部 2年生)

授業日	5月〇〇日	教科	国語	担任	〇〇 〇〇
単元名	「たんぽぽのちえ」 ※カリキュラムの日程により単元名が増える場合があります。			準	・教科書 ・ノート ・くごくしゅうノート ・かん字の学しゅう ・くりかえしかんじドリル ・形成プリント
今日の目標	じゅんじょに 気をつけて読もう			備	・筆記用具+赤えんぴつ 必要なものを示して下さい
※時間を4コマにしています。課題によって速く終わる時間もあれば、そうでない時間もあると励みになると思います。					
時間	学 習 内 容(普段の授業計画を入れ、それに活動を+します)	課 題 (取り組むポイント)			
1	国語 ◎「たんぽぽのちえ」教科書P41～P47まで読む。 ・新しいかん字は、下のらんを見て 読みましょう。 ○はじめの かんそうを 書きましょう。 おもしろいとかんじたこと、ふしぎだと思ったこと、はじめて知ったことはありませんか？ ○新しい かん字を れんしゅうして、覚えましょう。	○ノートに「たんぽぽのちえ」と書く ○教科書を読んだら「はじめの かんそう」を書きましょう。 ・ノートに「はじめの かんそう」と書いてから、6行くらいに まとめて書きましょう。 ○くりかえしかんじドリル 15から17まで、ドリルに書いて れんしゅうしましょう。Bのえんぴつで、書きじゅんをよく見て書きましょう。			
2	国語 ◎「たんぽぽのちえ」 どんちえがあるのかな ○たんぽぽが、いつ、どんちえをはたらかせているか、それが書いてあるところに、教科書にえんぴつで せんをひきながら読みましょう。 ・教科書P48の下の絵を見て ちえをたしかめましょう。 一絵があらわしていることばに せんがひいてありましたか？ ○くごくしゅうノートのP10とP11をしましょう。	○今度は教科書の「たんぽぽのちえ」を読みながら、たんぽぽのちえが書いてあるところに、教科書に せんを引きながら、読む。 ○くごくしゅうノートP10とP11の①から⑥までしましょう。 ・終わったら、こたえをたしかめましょう。			
3	国語 ◎「たんぽぽのちえ」 たんぽぽの かしこいところ ○まえの時間に、たんぽぽの ちえで 教科書に せんをひいたところを みじかくノートに書きましょう。 ○くごくしゅうノートP12とP13をして、たんぽぽの ちえを たしかめましょう。 ○形成プリントの8①れんしゅう①をしましょう。	○ノートにまえの時間に 教科書にせんをひいたたんぽぽのちえを書きだします。 ○たんぽぽの ちえをたしかめるため、くごくしゅうノートP12の1から4をしましょう。それから、P13の1から2をして、たんぽぽのちえについて、思ったことを書きましょう。 ・終わったら、こたえをたしかめましょう。 ○形成プリントの8①れんしゅう①をしましょう。			
4	国語 ◎「たんぽぽのちえ」 じゅんじょ まとめ ○教科書P51「じょうほう」を読み、「たんぽぽのちえ」のような せつめい文では、じかんなどの じゅんじょでせつめいされていました。じゅんじょについてまとめましょう。 ○「あさ おきてから した こと」をじゅんじょが 分かるように ノートに書きましょう。 ○「たんぽぽのちえ」を音読しましょう。 ○形成プリントの10③れんしゅう③をしましょう。 ○かん字の学しゅうP19黄とP20色P21黒をしましょう。	○ノートに「じゅんじょ」と書き、P51の三つのじゅんじょ・じかん、しかた、たいせつさ それぞれの じゅんじょを書きましょう。 ○「あさ おきてから した こと」をじゅんじょが 分かるように ノートに書き、いえの人に読んでもらいましょう。 ○たんぽぽの ちえを音読し、いえの人にサインをもらいましょう。 サイン〔 〕 ○形成プリントの10③れんしゅう③をしましょう。 ○かん字の学しゅうP19からP21をする。			
宿題	○かん字の学しゅう、を1日1ページしましょう。今週は(月)P22太、(火)P23毛、(水)P24高、(木)P25風、(金)P26晴、(土)P27多。 計画表は時間によって長短が出ます。1ページに収まらなくても大丈夫です。				



新緑のさわやかな季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度一年生を受け持たせていただきます担任の矢崎さゆりです。副担任は、岡本真理先生が務めてくださいます。どうぞよろしくお願い致します。

小学校生活を始める期待と喜びで小さな胸を膨らませていた新一年生みなさんが、入学式を行うことなく現在に至っているのは、大変残念です。先の見えない毎日が続きませんが、安全に学校生活ができるようになるまで、みんなで感染予防を心がけ、今のこの困難な状況乗り越えていきましょう。

さて、学校からのお知らせにもありますように、5月17日から国語の「学習サポート」を始めることになりました。すべてが初めての経験になる一年生には、学習を始める前に身に付けてほしい基本的なこと、正しい姿勢、鉛筆の持ち方等指導することが色々あります。本来ならば学校で繰り返し指導することも、「学習サポート」では十分にできない面も出てくると思いますが、基本的なことではできるだけ内容に盛り込んでいきたいと思っています。

学習サポートは、宿題も含めてお子さん方がすることになります。ひらがなの学習をしていない一年生には、読めない、分からないことも多々出てくるかと思えます。保護者の皆様にはお手数をおかけすることになりますが、ご家庭でのサポートへのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

1. 配布物について

先日配布された教材と副教材は次の通りです。チェックをお願い致します。不足のものがありましたら、ご連絡ください。5月17日からの「学習サポート」で使用する教材には、○をしました。その他のものは、お家で保管しておいてください。

袋の中	1.		副教材	1	たのしいおけいこひらがな・すうじ	○
	2	あたらしいさんすう ①		2	さんすうの力(上)	
	3	あたらしいさんすう ②		3	こくごのがくしゅうノート(上)	○
	4.	しよしゃ	○	4	たのしくおぼえるカタカナ	
	5	あたらしいせいかつ(上)		5	かん字の学しゅう	
	6	どうとく 1		6	国語の形成プリント	○
	7	ずがこうさく(上)		7	算数の形成プリント	
	8	小学生のおんがく①	ノート	1	国語のノート(縦10マス)	○
				2	算数のノート(縦7マス)	

2. 学習前に準備するもの

机の上に用意させてください。最初は一人でできなくても、徐々に自分の力でできるようにご指導ください。形成プリントは必要なものだけを用意してください。

- 1) 国語の教科書(上)
- 2) ノート
- 3) 書写の本
- 4) 国語の学習ノート
- 5) たのしくおぼえるひらがな・すうじ
- 6) 形成プリント
- 7) 筆記用具 鉛筆(Bか2B) 3~4本(削ったものを用意すること。)、赤鉛筆、青鉛筆、消しゴム、ミニ定規、下敷き(用意できれば)
- 8) バインダー 学習サポートで取り組んだものを、ひとまとめにバインダーに綴じておいてください。開校時に提出していただきます。

名前をかこう



お願い：物を大切にすることを習慣をつけるために、持ち物すべてに名前を書いてください。特に、鉛筆には一本ずつ記名するようにお願いします。

3. 丸付けについて

国語の学習ノート、形成プリントの丸付けは、ご家庭ですませてください。解答はご家庭で保管していただき、赤鉛筆(ペン)で丸付けをし、間違ったところは正しい答えに書き直させた後、青鉛筆で丸をつけてください。

音読カード、国語の学習ノートや形成プリントは、開校時にチェックさせていただきますので、バインダーに綴じておいてください。

4. ひらがなの練習について。

書写の本を参考にして、「とめ・はね・はらい」などに気をつけて、書く練習をさせてください。筆圧に気をつけ、ゆっくりとていねいに書くことを習慣づけてほしいと思います。

5. 音読について

「音読」は特に大切なので、積極的に取り組んでいただきたいと思っています。毎週宿題として出しますので、音読範囲を読み終わったら、評価欄に記入してください。サインもお願い致します。

6. 今週の暗唱君について

音読の後に、繰り返し声に出して読む練習をさせてください。

がくしゅうさぼうと けいかくひょう(1ねん)
6がつ 7か(No. 4)
(ろく) (なのか)
()ばん なまえ()

みなさんへ

あつかったり さむかったりする おてんきが つづいています。きそく だしい せいかつを して、けんこうに まいにちを すごしましょう。せんしゅうの「あんしゅうくん」は、おぼえるのが むつかしかったかも しませんね。「あかるい あさひだ〜」に つづけて いってみましょう。じょうずに できましたか。では、きょうの がくしゅうを はじめましょう。

1. さいしよに、がくしゅうに つかうものを じゅんび しましょう。
2. つくえの うえに おきましょう。せいどんが できましたか。
3. つぎに、だしい しせいです。とんえうたを うたいながら やって みましょう。「あしは、べったん〜」

今日の目標 ①あさの おひさま一詩に描かれた様子を想像しながら、音読することができる。
②ききたいな、ともだちのはなし—友達の話に興味をもって聞く。
③たのしいな、ことばあそび—言葉遊びを楽しみながら、一音一文字の原則にきづくことができる。

☆おわったら、ほんごうに ○に つきましょう。 ☆言葉の説明 1)~4)調題

じげん	たんげん	べえじ	がくしゅうすること	かだい
1	あさのおひさま	p. 26 ~27	1. 26 べえじを あけましょう。きょうは、「し」を よむ がくしゅうを します。このえは、どんなところの えですか。こんえ ところを みたことが ありますか。 2. こえに だして よんでみましょう。くちの かたちに きを つけて。	☆しーみじかいことばで、きもちを あらわしたものを。

		3. よんでみて、めを つぶると どんな ようすが うかんできますか。おひさまや うみ、なみのようすは どうでしょう。 4. 「のっこり うみから おきだした」からは、おひさまの どんなようすが おもいうかびますか。「ざぶんとうみで あらったよ」は、おひさまが どうしているところでしょう。 5. すきな ことばや おもしろい ことばは ありましたか。そのことばに あなたの きもちを こめて、もういちど こえに だして、よんでみましょう。		
2	ききたいな、ともだちのはなし	p. 28 ~29	1. ともだちが どんなあそびが すきかわかったら、いっしょに あそべて たのしそうですね。ともだちのはなしあいが できないので、きょうは、あなたの すきな あそびを おしえて ください。 - いつも どんな あそびを していますか。 - あそびの なかで いちばん すきな あそびは、なんですか。	
3	たのしいな ことばあそび	p. 30 ~31	1. きょうかしの 30べえじを みなから 「あ」ではじまることばを じゅんばんに てを たたきながら いってみましょう。1つの じに いっかい てを たたきます。 2. 「う」「か」ではじまる 1もじ、2もじ、3もじ、4もじの ことばを あつめましょう。	☆一音一文字 1)「う」と「か」ではじまる 1、2、3、4もじのことばを 3つずつ あつめ、のうとにかきましょう。(1もじは、1つだけ。)(書き方—下欄参照)

4 しょしゃ p. 14~15

1. 14ページを あけましょう。
きょうは、「むすび」と「かきじゅん」の がくしゅうを します。むすびには、よこなかと たてながが あります。ちいさく(○)ではなく、△に むすびましょう。「かきじゅん」は、かく じゅんばんの ことです。はいいろの ところを なぞりましょう。

2. きょうは、「り・し・か・さ・つ」を かくれんしゅうを します。
ゆっくりと、ていねいに かきましよう。
※きをつけるどころ
「か」ーさいしよにかくところ(いっかくめ)と 2ばんめに かくところ(2かくめ)は、①と③の おへやから てないように しましよう。
※のうどの かきかた

う		か	1	か	6
の		か	2	の	
つ		め		つ	
く		か	3	く	
こ		ら		こ	
と		す		と	
ば		か	4	ば	
		け			
		つ			
		こ			

2) 「しょしゃ」(p. 14~15)
ま あ
(o) (x)

3) 「たのしい おけいこ ひらがな」(p. 7~9「つ」まで)

4) けいせい ぶりんとの 5を しましよう。

お母様方へ 今日学習の評価をお願い致します。 ◎よくできた ○できた △がんばろうを 書き入れてください。

評価欄

こんしゅうの しゅくだい (1ねん)
6がつ 7か (No.4)
(あく) (なのか)
() ばん なまえ ()

- ひらがな れんしゅう ぷりん と 「り・し・か・さ・つ」
- おんどく かあど

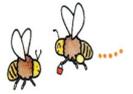
よんだひ	ページ	かいすう	しせい	こえ	はやさ	きいたし
6	p. 32~p. 39 (よめるところまでよみずめてもよいです)					

◎よくできた ○できた △がんばろう

あさの おひさま
あかい かお
ざぶんと うみで
あらったよ

あさの おひさま
おおいな
のつこり うみから
おきだした

☆あさの おひさま
あんしょうくん
こんしゅうの



① ② さしすせそ

③ ④ ほう

① ② ③ ④

ていねいに かきましよう。

あ く す

ろくま か

たつむり

つまいも

① ② さしすせそ

③ ④

ていねいに かきましよう。

ろくま つまいも

さ たつむり

補習授業校情報交換会#7「やっぱり大変、1年生と幼稚園」

ケルン日本語補習授業校 堀米 いつ代

休校中、Zoom を使用してオンライン授業を実施している。幼稚園では、年少組は入学時期を遅らせ、年中と年長のみ授業を実施。在籍者数は年中16名、年長18名、小1は15名である。

【活動例・授業の工夫】

年中

「ものさがし」…講師が出した課題(特定の色・形・その他)に合う物を家の中から探し、画面前に持ってくる。

➡幼児が能動的に参加できる。また、体を動かすことにより、活動に変化をつけ、その後の集中力を促すことができる。ただし、探す時間に個人差があるので、工夫が必要。

年長

「授業前の時間を活用する」…授業前に早め入室してもらい、学習課題に沿った手作業や工作に取り組んでもらう。共有画面にて課題を表示。動機付けとなるよう、授業前の活動内容を授業で使用したり、紹介したりする。また、授業内で扱う課題と関連付けることで、授業との流れができるよう留意している。ただし、授業前の活動に熱が入り、授業中に疲れが出てしまう幼児がいるので、授業数分前に休憩をとるよう促している。

小1

「Zoom の投票機能を活用する」…参考資料「5月2日『かずをかこう1~5』」

➡択一問題なので、PC 知識がない幼児や児童でも容易に取り組むことができる。

【プラス面】

- ・保護者の支援を受けることができるので、授業を進行しやすい。
- ・保護者に学習ポイントを伝えることができるので、よりの確な家庭支援を得られるようになった。

➡参考資料:学級通信②、5月2日「かずをかこう1~5」

- ・保護者が毎週の授業内容を知り、さらには自分の子どもだけでなく、他の子ども達の様子も

家庭学習の手引き

～算数ができる子になる勉強のコツ② 2020年5月9日～

前回、「1～5」までの指導をした。本日「6～10」を扱う。今週号では、数字の形を正しくとらえて、正しい書き順で書くことについてのコラムを掲載したい。

書き順と鏡文字について

正しい書き順で漢字を書ける子であっても、漢字ができるというわけではない。けれども、正しい書き順で書けない子に漢字ができる子は一人もいない。そのくらい書き順は漢字を身につける上で、大切である。こんなことはわざわざこの紙面上に書かなくても分かっている人は多い。けれども、それがひらがなやカタカナ、ましてや数字になると、少々書き順が誤っていてもよいと考える人はいるのではないだろうか。書き順を正しく覚えるときに大切なことは、順番を覚えることよりも、文字や数字を書くときには、書く順番があることを知り、それを意識しているかどうかなのである。つまり、書き順を意識している人は、全ての文字数字の書き順において(覚え違いを除き)正しく書くことができるし、そうでない人は全ての書き順において正しく書けないのだ。

とはいえ、幼児期は注意を要する。手指の発達においても個人差があるが、見る力においても大きく異なる。後者については、文字や図形などをまね書きさせてみると発達具合がすぐわかる。例えば十字型を書かせるとう。大人であれば、漢数字の「十」のように横線を描いた後に縦線を描く人が多いのではないだろうか。しかし、幼児は、縦線から描く子がほとんどである。幼児の目線は上から下に行くという特徴があり、横線より縦線が優先されるからなのだ。また、横線を描くときも大人であれば、左から右へ線を引くが、幼児は右から左へと描く子が多い。これも、幼児には左より右が優先されるからである。総合すると、幼児には横線より縦線、短い線より長い線、直線より曲線、単純な線より複雑な線を先に描く傾向がある。ひらがなの「ら」や「よ」の書き順に誤りが多いのは、縦線がまず目に入るため、2画目から書き出してしま

ためである。また、「と」などに鏡文字が多くみられるのは、縦に目が行き、全体のバランスを見ることができなくなるためである。

数字において誤りが多いのは、「8」「9」、そして、「0」である。起筆が異なったり、筆の運びが反対であったりする。「3」や「5」は鏡文字になりやすい数字である。また、日本の算数では、「いち」と「しち」は、「1」と「7」を表記し、ドイツ語表記とは区別して指導する。

正しい書き順で書くことは大切であるが、こうした幼児の特徴を理解しないで、正しい書き順を強要することは、幼児を混乱させ、やる気を摘み取る結果にもなることがある。子ども達の様子を見ながら、働きかけることが大切である。また、お手本は幼児の左側に置くのではなく、正面に置くといった工夫も取り入れるとよいだろう。

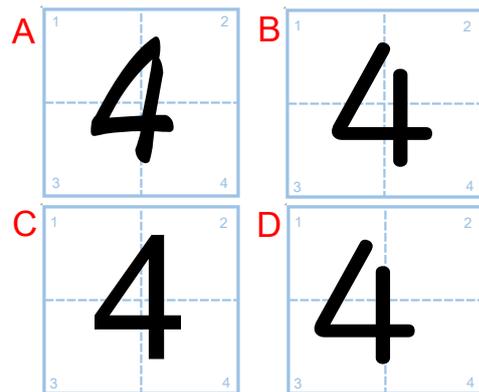
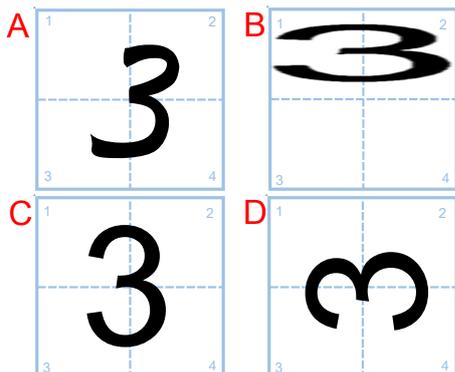
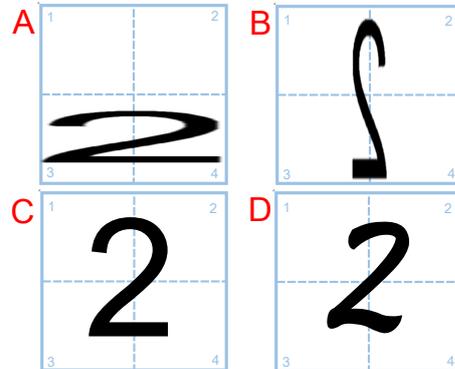
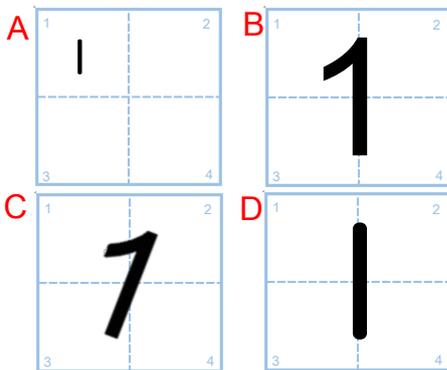
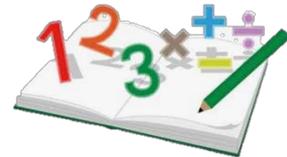
数の概念が身に付いているとは？

「数の概念」が身に付いている子は、次のような子である。

1、2、3……という数字、いち、に、さん……という数詞、□□□……という数えるものが、全部同じであるということが分かっている

例えば、ドッツカード  をばつと見て、「さん」と答えられる子、あるいは  の数字カードが間違いなく取れる子、そして「さん」と言ったら、 のカードが間違いなく取れる子、そのような子であれば、「数の概念」が確実に身に付いていると言える。

逆に  のカードを見て「1、2、3」と●を数えて「3」が分かる場合には、数の概念がまだ十分に形成されていない(3のままとまりが頭の中でイメージされていない)可能性がある。



🍀 ノールパドカレー *****

2020年6月8日現在

ノールパドカレー補習授業校

ZOOMなどビデオの双方向の授業の取入れの必要な場面（覚書）

本校の場合、ロックダウンが長期化されないかもしれないことを想定して 遠隔授業を開始しました。優先したのは ①いつも授業していた時間は必ず日本語の勉強にあてさせる習慣の継続、②諸所のわずらわしさを軽減するため、ひとまずメールで授業時間中必ず行う課題と宿題の告知でした。

このように ビデオ授業を入れなかったため、本校における「ビデオ授業=教員が必要な場面」というのが 浮き彫りになったように思います。今後の授業においても、以下の局面においてICT環境を駆使した授業を行っていくようにしたいです。

<ビデオ授業=教員が必要な場面>

- ①既存の資料（YOUTUBE、NHK FOR SCHOOL、保護者の指導、プリント、ワーク、など）を使っても、まだ子供がわかっていないとき
- ②（思春期の）子供が保護者の言うことを聞かないとき
（教員と子供の関係が必要な時）
- ③クラスメート間でコミュニケーションが必要な時
- ④教員が子供（及び家庭）の様子を把握したいとき
- ⑤クラス運営のリズムを変更する必要があるとき
（だれてきて、学習や習慣のリズムを変える必要があるとき）
- ⑥聞く・話すの課題
- ⑦クラス学習における学習マナーの習得
- ⑧年齢があがると、学習内容が難しくなり、保護者がケアしきれていない内容が出てしまい、教員の指導が必要になることがある。